

幸せな社会



誰でも簡単に楽しめるニュースポーツ
「カーリンコン」「モルック」を紹介します

ニュースポーツを楽しんで「心と体の健康づくり」「仲間づくり」を進めましょう！

ニュースポーツは、子どもからお年寄りまで、だれでも気軽に組みめるレクリエーション性の高いスポーツです。技術やルールが簡単で、参加者に合わせたルールで楽しむこともできます。今回、ニュースポーツの中から「カーリンコン」と「モルック」を紹介します。

社協ではこの2種目の用具を貸出していますので、希望される場合はお電話にてお申込みください。

もくじ

- 23 | 令和3年度 事業報告・決算
- 45 | **特集** 社協の相談支援実践事例
- 6 | 居場所「シエスタ」開催のお知らせ
- 7 | 寄付報告、福祉センターからのお知らせ
- 8 | ボランティア掲示板



カーリンコン

氷上の競技、カーリングを床の上で、ストーンを赤色と緑色の2面の円盤（ディスク）に仕立てたものです。両チームがそれぞれ6枚のディスクを互いに投げ合い、どちらが中心のポイントに近づいているかを競います。



モルック

プレーヤーは交互にモルックと呼ばれる木製の棒を投げて、スキttlと呼ばれる木製の得点がかかれたピンを倒して得点を加点していきます。得点の合計がピッタリ50点になったプレーヤーの勝ちです。



発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2022

7月

No. 206

事業報告・決算

江別市社会福祉協議会(以下「社協」)では、令和2年度に策定した地域福祉実践計画(以下「計画」)に基づき、「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営し事業を進めています。

計画の2年目を迎えた令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化に伴い、社協においても一部事業の縮小や中止を余儀なくされ、各種会議においては感染防止に配慮しながら必要により実施、或いは書面による開催に切り替わったものも多くありました。一方で生活維持のために必要な給食サービスや除雪関連サービスについては、継続して適切に実施しました。

地域活動支援においては、「コロナ禍で人が集まる」とが困難な状況により「地域交流の集い活動」の実施方法を変更した際の特例助成金を新設し、「コロナ禍に対応する活動支援を実施しました。また、生活課題に対応した総合的な相談支援では、「コロナ禍の経済的な困窮による資金ニーズの増加と共に、くらしサポートセンターえべつへの相談件数も大幅に増加しました。このような中、生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金といった制度活用等、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援に取り組みました。

以下、具体的な事業の実施結果について報告します。

《基本計画1》
地域福祉に関する情報提供
や包括的な相談体制による
支援

広報活動による福祉情報の提供

▼社協だより「幸せな社会」の発行 年4回発行。

▼ホームページの運営

社協の運営・事業等の情報を発信。福祉センター貸室予約機能を追加。

生活課題に対応した総合的な相談支援

▼生活困窮者自立支援事業

くらしサポートセンターえべつでは、生活課題に対応した総合的な相談支援を実施。特に、対象者像に合わせた就労支援と役割創出活動の充実に注力。また、家計に関する助言や滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援。離職・休業等に伴う収入減少により住宅を失うおそれがある方を対象とした住居確保給付金の相談窓口業務を実施。

実績 新規相談609件、延べ相談支援数4,199回、プラン作成103件

▼日常生活自立支援事業
判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や日常生活費の管理を支援。

実績 年度末契約23件(新規契約3件・解約3件)

▼成年後見実施機関の運営及び法人後見業務

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報用パンフレットの作成や地域向け講演会を開催するなど制度普及・利用を促進。市民後見人候補者へのフォローアップ研修、市民後見人個人受任者の活動支援を実施。また、社協による法人後見業務を実施。

実績 新規相談146件、延べ相談支援数914回、年度末法人後見受任20件(新規受任6件・終了1件)、年度末市民後見人個人受任4件(新規受任2件・終了2件)、市民後見人フォローアップ研修2回

【地域向け講演会】

実績 令和3年11月21日(日)、参加者138人、内容「認知症になった波平さん」



講師
作家・渡辺哲雄氏

▼貸付金を活用した相談支援 生活困窮・障がい者世帯に対し、使途目的に応じた資金の貸付を実施。

実績 教育支援資金4件、緊急小口資金423件、総合支援資金776件、特別生活資金1件、福祉金庫49件

▼ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援 相談活動を主とするボランティア3団体の協力を得て電話相談を実施。



▼生活支援体制整備事業

住民主体で行うサロンなどへの参加を通じ、情報収集及び第2層生活支援コーディネート(地域包括支援センター)との協働、関係機関とのネットワークづくりを構築。また、「通いの場情報誌」訪問日より「社協広報誌」などを通じ活動の周知に注力。

実績 関係機関との情報交換・情報提供活動112回、地域活動への参加48回

社協の相談支援事業 ●生活安定のための貸付金を活用した相談支援(地域福祉係 ☎385-1234)

●経済的困窮・失業・引きこもりなど生活上の悩みを抱えている方の相談支援(くらしサポートセンターえべつ ☎375-8987)

●成年後見制度利用の相談や申立手続支援など(江別市成年後見支援センター ☎375-8988)

《基本計画 2》
ボランティア活動で進める
福祉の環境づくり

ボランティアセンターの運営

▼ボランティア活動の相
談・登録、活動先紹介

実績 登録ボランティア個人133
人・団体57団体、施設・団体への支
援・相談活動などボランティア派遣
延817人



《基本計画 3》

市民参加で進める地域での
生活支援や交流活動の促進

愛のふれあい交流事業の実施

▼愛のふれあい活動 ボラ
ンティアグループを編成し、

ひとり暮らし高齢者などへ安
否確認などの助け合い活動
に取り組み自治会を支援。

実績 実施65自治会

▼地域交流の集い活動 地
域の高齢者などの閉じこもり

を予防し、身近な住民による
交流を促進するための活動
に取り組み自治会を支援。コ
ロナ禍に対応する活動支援
として特例助成金を新設。

実績 実施50自治会、実施事業
123事業

企業・団体の地域貢献活動への支援

▼活動備品の貸出 企業・自
治会・団体などが行う地域

行事へ活動備品(テント・机・
椅子)の貸出。

実績 活動備品を延9施設・団体へ
貸出

▼企業・団体の社会貢献
活動への協力 緊急支援用

食糧寄贈、介護用電動ベッ
ド寄贈、車椅子寄贈、福祉
施設への清涼飲料水寄贈、
高齢者宅の配線無料診断サ
ービスの実施

《基本計画 4》

体験学習、研修による福祉
意識の醸成

福祉の心を育む・知識を深める

▼ワークキャンプ 高校生
を対象に冬休み期間に福祉

施設での体験学習を実施。
実績 参加者4人

学校の福祉学習活動への協力

▼総合的な学習の時間に
協力 体験用具貸出やボ

ランティア派遣など協力。
実績 ボランティア派遣1校、高齢
者疑似体験セット・車椅子貸出12
校

《基本計画 5》

自立した生活を支援する
福祉サービスの提供

雪処理への支援

▼福祉除雪サービス 高齢
者世帯などへ公道除雪後に

残る置き雪を専用車で除雪。
実績 利用884世帯

▼除雪派遣サービス 高齢
者世帯などの生活通路を作

業員が除雪。
実績 利用132世帯

▼えべつ雪の処理情報誌
の発行 市内の除雪・排雪

などを行う事業所を冊子に
まとめ、雪処理情報を提供。
高年齢者・障がい者の在宅生活を
支援

▼給食サービス 食事の支
度が困難な高齢者世帯など

へ夕食を宅配。配送時に安
否を確認。
実績 利用177世帯

▼障がい児者移動支援事
業 身体・知的障がい児者の

外出・余暇活動などの介助の
ためにガイドヘルパーを派遣。
実績 利用延557件

▼福祉機器の貸与 疾病・
障がいのある方などへ福祉機

器を貸与。
実績 車椅子954件(延月数)、

介護用電動ベッド490件(延月
数)、歩行器181件(延月数)

農村地域児童の子育て支援

▼北光保育園・野幌季節保
育所の運営

《基本計画 6》

地域に信頼される社協運営
のための組織づくり

▼地域福祉実践計画の進
行管理 合同部会で計画の
進行状況を管理・評価。

▼福祉センターの管理運
営 地域福祉活動の拠点施
設・高齢者が集う交流の場
として新型コロナウイルス感
染防止対策を講じながら運
営。センター利用者の利便性
向上を図り、オンライン予約
を導入。地下タンク埋設配
管及び施設内プール関連不
具合箇所の改修工事を実施。

決算 令和3年度サービス区別資金収支計算書

(単位:円)

サービス区分	予算額	収入決算 (A)	支出決算 (B)	収支差引 (A)-(B)
法人運営事業	92,252,000	94,166,374	91,992,509	2,173,865
社会福祉基金運営事業	12,128,000	12,822,240	7,204,040	5,618,200
調査・研究事業	436,000	438,191	438,191	0
広報事業	5,809,000	5,595,121	5,595,121	0
顕彰事業	127,000	127,961	127,961	0
江別ふれあい福祉の広場事業	4,000	3,108	3,108	0
ボランティアセンター事業	2,648,000	2,413,589	2,413,589	0
住民福祉推進事業	176,000	187,625	187,625	0
愛のふれあい交流事業	4,038,000	3,127,374	3,127,374	0
給食サービス事業	42,322,000	41,706,159	41,706,159	0
福祉除雪サービス事業	37,449,000	37,448,618	37,448,618	0
除雪派遣サービス事業	4,232,000	3,197,381	3,197,381	0
福祉機器貸与事業	638,000	621,062	621,062	0
生活困窮者自立支援事業	669,000	770,938	770,938	0
生活支援体制整備事業	5,000,000	4,999,736	4,999,736	0
移動支援事業	3,344,000	3,481,755	3,481,755	0
成年後見支援事業	10,605,000	11,018,260	11,018,260	0
福祉サービス利用援助事業	860,000	865,000	865,000	0
共同募金配分金事業	4,827,000	4,838,641	4,838,641	0
生活福祉資金貸付事業	15,866,000	17,584,940	8,973,337	8,611,603
福祉金庫貸付事業	5,021,000	5,462,401	1,977,002	3,485,399
総合社会福祉センター運営事業	30,861,000	29,402,795	29,402,795	0
北光保育園運営事業	23,213,000	23,137,577	23,137,577	0
野幌季節保育所運営事業	7,078,000	7,107,856	7,107,856	0
内部取引相殺額	△7,038,000	△3,705,623	△3,705,623	0
合計	302,565,000	306,819,079	286,930,012	19,889,067

【掲載事業所募集】 社協では、雪の処理(除排雪、屋根の雪下ろしなど)を実施している事業所情報を掲載する「えべつ雪の処理情報誌」を発行し、市民に情報提供しています。掲載内容は、事業所名、連絡先、業務内容、費用、請負条件など。令和4年10月発行の2022-23年版への掲載を希望される事業所は、社協(☎385-1234)までご連絡ください。

社協の相談支援実践事例

現在わが国は、急速な少子高齢化や厳しい社会経済情勢、新型コロナウイルス感染症の長期化等を背景に、社会的孤立、経済的な困窮、ひきこもり等、日々の暮らしをめぐり困りごとや生きづらさを抱える人が増えています。

社協は生活困窮者相談窓口「くらしサポートセンターえべつ」の設置をはじめ、各種福祉サービス提供事業者として、ご本人・ご家族・関係機関等から様々な生活課題・福祉課題の相談が寄せられ、相談者や困りごとを抱える当事者と解決方法を一緒に考え、必要な情報提供や助言、福祉サービス利用援助、各機関との連絡・調整を行う等、解決に向けた取り組みを行っています。

今特集は、これまで社協が実践してきた相談支援事例をご紹介します。



▲くらしサポートセンターえべつでは、江別市や関係機関等とともに包括的な協議をする場として、定期的に支援調整会議を開催し、支援を必要とする人に対し、個別かつ具体的な支援の調整を図っています。

※内容は一部加工しています。



事例①

引きこもりのAさん

仕事が長続きせず退職を繰り返して、いるうちに自信を無くし、しばらく働けていません。



相談内容

相談者Aさんは、高校卒業後、就職したが上司との人間関係に悩み1年未満で退職。その後も人間関係を理由に短期間で仕事を辞めることを繰り返しているうちに、仕事をする自信を失い、10年間ひきこもりがちに生活していた。家計を助けるために働きたいと思うがブランク期間も長く、何から始めればよいかわからない。

支援した内容

就労準備支援事業・中間的就労の利用

Aさんは、仕事をしたいと思っているが、何がやりたいのか、何をしてみたいのかよくわかっていないところに漠然とした不安を持たれていました。また、長期間にわたり外出する機会や家族以外と話す機会がほぼ無かったため、人とのコミュニケーションを苦手としていました。そこで、いきなり就職活動をするのではなく、外出する機会を作ることや他者と話すことに慣れることを目標に、くらしサポートセンターえべつの相談支援員と定期的な面談を行い、生活リズムの改善や面談に慣れたタイミングで中間的就労(就労訓練事業)や就労準備支援事業(一般就労に向けたサポート)を利用しました。他の利用者との会話の場の提供や本人の自己肯定感を上げられるようなプログラムを策定し、就職活動に向けたビジネススキルの習得、面接マナーの習得に取り組みしました。

プログラムの一環として

職場見学・就労体験をする中で、就労体験での取り組みが評価され、体験した企業にそのまま就職が決まりました。また、企業の協力が得られ、短時間での勤務から始まり、徐々に時間数を延ばし、自立にいたるステップを確実にしていくことができました。

▼Aさんは、給料をもらえるようになったことで、これまで我慢していた趣味にもお金を使えるようになりました。就労支援はジョブマッチングに止まらず、Aさんの生活や人生を豊かにする取り組みにもつながりました。

事例②

認知症高齢者Bさん

年金が計画的に使用できず、家賃や公共料金を滞納している。



相談内容

民生委員より、金銭管理ができなくなっている高齢者Bさんの相談がある。Bさんは、最近、認知症の症状が見受けられ、年金収入を超えるお金を使ってしまう、家賃や公共料金を滞納している。預貯金もない。

支援した内容

日常生活自立支援事業の利用

社協職員がBさんとの面談を実施したところ、Bさんは手元にお金があると使ってしまった、何に使ったか覚えていない。本人も金銭管理ができなくなっていることの自覚があるとのことでした。

Bさんは他者の金銭管理支援を希望していることから、判断能力が不十分な方の日常的な生活費の管理等を援助する社協の**日常生活自立支援事業**のサービス利用手続きを開始することになりました。サービス開始に向け、収支や滞納状況を確認しな

支援した内容

生活福祉資金制度の活用

から支援計画を策定し、サービス開始後は支援計画に基づき、金銭管理支援を実施する中で滞納は解消しました。▼現在は生活費が安定してきたことで外出の機会も増え、趣味活動への意欲も出てきているようです。

事例③

失業したCさん

新型コロナウイルスの影響を受け失業：

ライフラインが止まった！



相談内容

相談者Cさんは、新型コロナウイルスの影響で会社の業績が急激に悪化し失業した。公共料金の支払いが出来なくなり、電気・ガスが止まってしまった。

事例④

うつ病があるDさん

きょうだいと疎遠な精神障がい者の遺産分割協議が進まない。



相談内容

ケアマネより、うつ病などの精神障がいがあるDさんの相談がある。

Dさんは、高齢者賃貸住宅入居中で、意思疎通は可能だが複雑なことを判断・実行することは困難。両親が他界し、預貯金・不動産等の相続が発生しており、きょうだいと財産の遺産分割協議をしなければならぬが、自身で手続きすることはできない。きょうだいとの関係性は悪く、疎遠なので代わりに手続きをしてほしいと希望している。また、近頃は金銭管理もできなくな

ってきている。

支援した内容

成年後見制度の利用

江別市成年後見支援センター相談支援員がケアマネとDさん宅を訪問し、困りごとや希望を聞き取りました。成年後見制度の説明をしたところ制度利用の意思を示されました。また、きょうだいとも面談し経過を説明。きょうだいは、Dさんが関わりを拒否し、遺産分割協議に応じないため成年後見制度の利用を進めてほしいと希望がありました。

その後、成年後見制度の利用に向け、申立手続を支援。1か月後、家庭裁判所から江別市社会福祉協議会を成年後見人を選任する審判ができました。

社協が成年後見人就任後、Dさんの代理人として司法書士とともに不動産の現地調査と家財処分を行い、相続財産を確定し、きょうだいと遺産分割協議を進め、合意することができました。

▼その後もDさんの成年後見人として定期的に訪問し、生活面の見守り・金銭管理・公的な手続き等の支援をしています。



昨年度は
4回開催で
延べ117人が参加



くらしサポートセンターえべつでは、昨年度に引き続き、NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークと共同で、ひきこもり当事者・家族の居場所「シエスタ」を開催します。

前半の全体会ではひきこもり経験のあるピア・スタッフからの体験談、後半は当事者ご家族同士でのグループワークなど参加者と交流を図れるフリータイムを設けています。

事前申込の必要はありません。自由に参加でき、安心して過ごせるような居場所となっていますので、関心のある方はぜひご参加ください。

開催日時

8月31日(水)・9月22日(木)
10月22日(土)・11月30日(水)
12月22日(木)

時間はいずれも14時～16時

会場 福祉センター(錦町14-87)

▽8月・10月・11月 大広間

▽9月・12月 研修室

問合せ くらしサポートセンターえべつ

☎375・86907

総合学習 お手伝いします

社協では福祉について学ぶ総合学習等のお手伝いをしています。次の内容でご相談をお受けいたしますので、ご希望の際は社協までご相談ください。

対象

市内学校・子ども中心の団体など。

内容

▼車いす体験学習

社協職員による車椅子操作の説明。車いすの貸出のみ可。

▼高齢者疑似体験学習

社協職員による体験教材使用方法の説明。高齢者疑似体験教材の貸出のみ可。

▼手話学習

手話通訳者運営委員会による手話体験学習。

▼視覚障がいについて理解を深める学習(当事者講習又は点字体験)

視覚障がいを持つ当事者や障がい者の支援活動を行うボランティアによる講話。ボランティア団体「点字ろくの会」による点字体験学習。

問合せ

地域福祉係 ☎385・1234



地域貢献・社会貢献のカタチ

社協は「地域に貢献したい」の架け橋になります

江別グリーンライオンズクラブ「認証30周年記念事業」により、生活困窮者への支援として、お米券15万円分を寄贈いただきました。



「生活困窮者の支援事業に活用します」
大江祐司実行委員長(右)から佐藤功会長(左)へ

福祉機器 貸出します

高齢や障がいのある方に福祉機器の貸出を行っています。電動・手動ベッドの在庫は限りがありますので事前確認が必要。申込・詳細は社協まで。

レンタル料

利用期間 貸出機器	短期利用 (15日以内)	長期利用 (16日~1ヵ月)
車いす	200円	400円
歩行器	150円	300円
電動ベッド	1,000円	1,200円
手動ベッド	800円	1,000円

野幌病院 JR野幌駅前 TEL382-3483

野幌病院 地域医療相談室 TEL 381-2643

介護老人保健施設 老健のっぼろ TEL 381-1133

老健のっぼろ通所リハビリテーション TEL 381-1177

在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター TEL 381-8858

訪問看護ステーション のっぼろ 訪問看護科 TEL 381-7877

訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193

英生会グループホーム ゆめみの TEL 391-3119

小規模多機能ホーム ゆめみの TEL 391-3229

江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業) TEL 389-5420

友愛記念病院 医療法人 友愛会

内科・心療内科・精神科・リハビリテーション科・歯科

(療養・認知専門) 江別市新栄台 46番地 1

TEL(011)-383-4124 <http://www.yuainen.or.jp/>

訪問看護ステーション **ゆうあい**

お気軽にご相談ください。 TEL(011)-380-5678

クールビズ 省エネルギー対策の一環として、社協職員は夏季に軽装で業務に従事しています。期間は6月1日(水)から9月30日(金)まで。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

ボランティアによる悩みごとと電話相談

社協登録ボランティア団体の相談員が悩みごとをお聞きます。

【相談無料】

なやみゼロ
☎389-7830

相談日	相談時間	相談名・内容	担当団体名
毎週 火曜日	10時～15時	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別家庭生活カウンセラーグループ
第2・4 水曜日	10時～14時30分	にこにこ相談室 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会
毎週 木曜日	10時～15時	認知症の悩みごとと相談 ▶ 認知症の悩みごとに関する相談	江別認知症の人の家族を支える会
第1・3・5 金曜日	10時～14時30分	悩みごととテレホン相談 ▶ 家庭生活の諸問題に関する相談	江別市家庭問題研究会

善意のご寄付
ありがとうございました

令和4年3月1日～令和4年5月31日(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して

北海道宅地建物取引業協会札幌東支部 100,000円

▼慈善バザー

野幌地区女性団体協議会
116,027円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して

江別友の会 20,000円、シヤボン玉コーラス 50,000円、江別市社会福祉協議会職員福利厚生会 114,613円、歌謡サークルきずな 15,000円

▼チャリティ・イベントの益金・売上など

大麻木版画同好会 10,000円

災害義援金

▼令和3年大雨災害

(共同募金委員会事務局受付分)
北海道野幌高等学校 10,155円

福祉センターからの
お知らせ

開館日時

月曜日 9時～17時

火曜日 9時～21時

※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日日は、祝日も開館してあります。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため休館になる場合があります。最新情報はホームページでご確認下さい。

7月～9月 休館日

7月18日(月)
9月19日(月)



社協会長

おじやました

(3月～5月)

江別家庭生活カウンセラーグループ総会、江別市家庭問題研究会総会、江別身体障害者福祉協会総会、江別市民生委員児童委員連絡協議会総会、江別市高齢者クラブ連合会総会、道立高等養護学校誘致期成会総会、道社協監査

江別ふれあい福祉の
広場の中止について

中止
のお知らせ



新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることにより、毎年7月に開催している「江別ふれあい福祉の広場」の本年度の開催を中止することにいたしました。
来年度以降の皆様のご来場をお待ちしています。

紙・事務用品・オフィス家具
OA機器・学校教材

(有) **カドク**

江別市高砂町10番地(市役所横)
電話(代)382-2553・FAX385-7878

損害保険・生命保険代理業



商号：有会社イー・エス・オフィス

〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1



地域に密着した保険専門店

保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00～18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

☎0120-74-0433

江別の皆様とともに
地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合



事務局 〒067-0031 江別市元町32番地2 笹岡印刷(株)内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)ア・ノ 研究社	笹岡印刷(株)	(株)のっぽろ印刷
	(有)トラスティプリント	藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷
〈賛助会員〉(有)くらしの新聞社			

税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

つながりサロン

開催日 第4火曜日 13時00分～16時00分
 場所 上江別老人憩の家(上江別南町1-26)
 参加費 1回200円(お茶代として)



のんびり
お話しませんか？
ちらっとのぞいてみる
だけでもOKです♪

※ご不明な点等お問合せは社協(☎385-1234)まで。
 (来生さん、村田さんにご連絡いたします)

つながりサロンは、今年6月から活動を始めた新しいサロンです。毎月第4火曜日の13時からの約3時間、参加者同士でゆっくりおしゃべりをする事ができます。

このサロンを立ち上げたのは、^{きすぎ}来生さんと村田さん(写真左)のお二人です。様々な地域活動や家族の介護経験等を通して、少子高齢化やコロナ禍によって希薄になってしまうこともある地域のつながりや支え合いをより広げたいと考えるようになりました。まずは顔を合わせてお話をすることから、との思いから開催しています。会員登録等はなく、出入り自由で気軽に参加することができます。また、マスクの着用、手指消毒、透明パーテーションの活用等感染症対策を行っています。

一歩外に出て、お話することで、力を抜いてほっとできる時間を過ごしてみませんか？

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

療養・介護・看取り研究会

問合せ 藤根(☎090-8636-8515)

高齢化社会を迎えて、人口が減少する多死社会の到来が予測されています。

「療養・介護・看取り研究会」は、そのような中で1人でも多くの高齢者が住みやすい社会づくりを念頭に、人生の終末を安らかに過ごし、できるだけ住み慣れた場所で心から納得できる人生を全うしたい—と願う人々への支援と研究を行うため、令和3年7月に発足した団体です。現在は、現世からの旅立ちを意識した時から、納棺の前までをサポートする看取り士資格取得者を含めた30名で活動を行っています。

一般にイメージされる終末期の看取りだけではなく、様々な職業や経験をしている会員らが“看取りびと”の立場で、元気なうちから高齢者やその家族に長期的に関わり、介護・傾聴・清掃・散髪・リンパセラピーなど、それぞれの会員が持つ得意分野を活かしながら支援を行っています。また、在宅での看取りは、看取りについての意識や環境づくりが必要と考えており、毎月第4日曜日を中心に、広く一般の方も参加可能な勉強会を開催しております。

私たちは地域の人々誰もが、それぞれの心の中にある想いに気がつくための過程に関わり支援しています。私たち会員の想いに賛同していただける方は誰でも参加することができます。ご自身の周囲にご高齢で支援を必要といらっしゃる方へ手を差し伸べてみませんか？



編集後記

石狩平野を囲む山々の雪も消え、緑濃くなる季節になりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症対策の毎日3年目を迎えました。人々の交流も対面の楽しさを改めて感じながら、少しずつ広がりを見せています。恐れるばかりではなく、克服する方策が功を奏してきたと言えるのではないのでしょうか。

さて、「幸せな社会7月号」が発行されました。新しいスポーツ情報から社協の事業報告・決算や相談業務の実践事例、「通いの場」のお知らせなど身近な情報が満載です。どうぞ活用ください。皆様の暮らしの困りごとなどに寄り添う社協の情報誌としてご一読いただけると幸いです。

「おなじそらのしたで」という絵本があります。この空の下で誰もが今日が良い日だったと思える日々になりますように、と願う毎日です。おからだに気を付けながら、日々充実した生活をお過ごしください。

広報編集委員会委員

松山 和子



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています